

Small Talk の理論と実践
～8月6日の講義を踏まえて～

ナンクルナイサ



琉球大学教育学部

大城賢

研究室HP <http://kenoshiro.net/>

聞き上手になろう！

8月6日の
復習

A: Hello. My name is ○○.

B:

A: Nice to meet you.

B: Nice to meet you, .

A: I am from ○○elementary school.

B: Oh, your school is .

A: I like sports.

B: What sports do you like?

A: I like ○○.

B: . I like ○○, .

(Really. I don't like ○○. But, I like ○○.)

ナンクルナイサ



Small Talk

Teacher Talk? Classroom English?
Oral Introduction? Presentation?

- Small Talkとは、高学年新教材で設定されている活動である。2時間に1回程度、帯活動で、あるテーマのもと、**指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることである。**また、**5年生は指導者の話を聞くこと**を中心に、**6年生はペア**で伝え合うことを行う。
- Small Talkを行う主な目的は、(1) **既習表現**を繰り返し、使用できるようにして、その定着を図ること、(2) **対話の続け方**を指導すること、の2点である。

(文部科学省「外国語活動・外国語研修ガイドブック」p.84)

学習した英語を実際に
使って見せる(定着)

ナクルナイサ



Small Talk

文部科学省は 小学校においては、**Small Talk** の教材を準備しています。しかし、それを単に聞かせるだけならリスニングの活動になります。Small Talk はリスニング活動ではなく、先生と生徒、生徒どうしが互いの考えや気持ちを伝え合う活動なのです。



教材を聞かせる
だけならリスニ
ング活動

実際に、先生の考えや
気持ちを聞かせること
が大切

ALTの先生にやって
もらってもよいし、二
人でやってもよい

話すこと[やり取り]の言語活動

○児童が**自分の考えを持つことができるようになる指導**を，単元や授業の中で必要に応じて行うことが考えられる。

○やり取りがある程度は継続するように，相手が言ったことを繰り返したり，応答，質問したりすることができるようになるための指導も必要である。

○そのようなやり取りの機会を**継続的にもつこと**，そして，そのやり取りの中で，教師が当該表現を意識的に繰り返し使用するといい「**やってみせる指導**」が大切である。そして，段階的に児童同士がやり取りをする機会をもてるようにし，そのやり取りの中で児童に当該表現を継続的に使用することで活用できるようにすることが肝要である。

「学習指導要領」，p.109

My name **is** ○○. My birthday **is** May 5th.

I **like** cats. I **have** a cat. I **can** play with my cat.

I **want** to be a vet.

話す時は、通常、様々な文型が使われる。likeを教えたから、likeのみを使って自己紹介をすることは不自然であり難しい。だからこそ単元を越えて既習表現を活用することをねらったSmall Talkは大切となる。

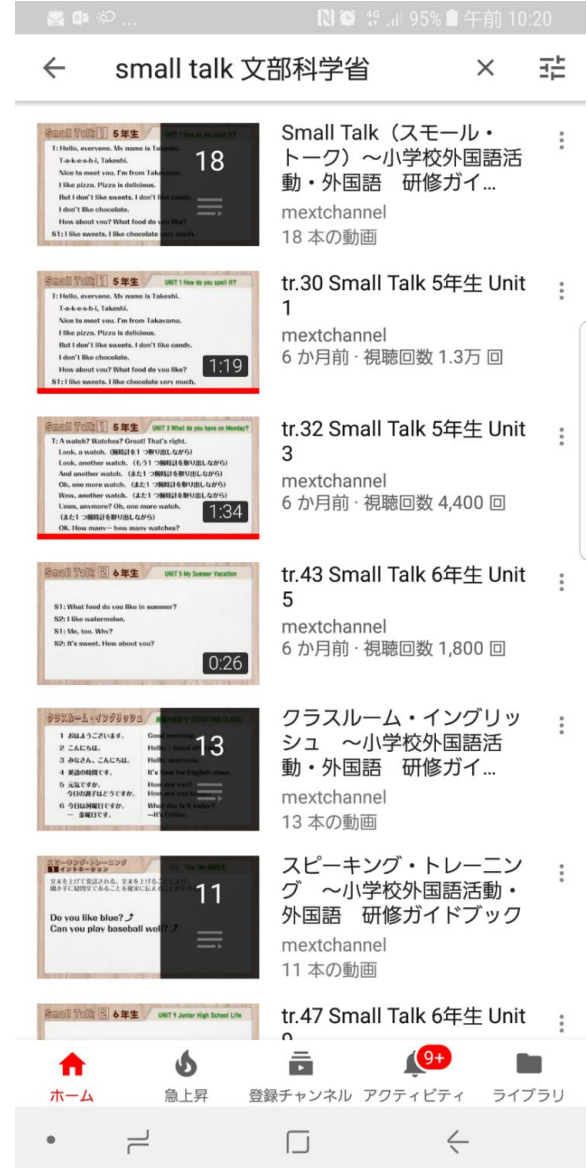
Small Talk (対話の続け方)

対話の開始	対話の始めの挨拶 Hello. / How are you? / I'm good. How are you? など
繰り返し	相手の話した内容の中心となる語や文を繰り返して確かめること 相手:I went to Tokyo. 自分:(You went to) Tokyo. など
一言感想	相手の話した内容に対して自分の感想を簡単に述べ、内容を理解していることを伝えること That's good. / That's nice. / Really? / That sounds good. など
確かめ	相手の話した内容が聞き取れなかった場合に再度の発話を促すこと Pardon? / Once more, please. など
さらに質問	相手の話した内容についてより詳しく知るために、内容に関わる質問をすること。 相手:I like fruits. 自分:What fruits do you like? など
対話の終了	対話の終わりの挨拶 Nice talking to you. /You, too. など

(文部科学省「外国語活動・外国語研修ガイドブック」p.84)



小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック



Unit 2-Lesson 4 When is your birthday? 4/7 時間

Small Talk の例

T: My birthday is January 2nd. I want a new watch for my birthday.

S1, what do you want for your birthday?

S1: I want a soccer ball.

T: I see. You want a soccer ball. Do you like soccer?

S1: Yes, I do.

T: You like soccer. Good. Everyone, what do you want for your birthday?

S2: I want shoes.

S3: I want a game soft.

S4: I want a dog.

T: You want shoes, a video game software and a dog.

S2, what color shoes do you want?

S2: I want blue shoes.

T: Oh, you like blue. S3, what video game software do you want?

S3: I want ...

T: I see. S4, do you like dogs?

S4: Yes, I do. I like dogs.

T: I like dogs, too. I like cats, too. Good. Who has your birthday in December?

< 文部科学省指導案例から >

Small Talk の例

Hello, everyone!
My birthday is September 1st.
I want a bag.
I want a blue bag.
I like blue. I have blue shoes,
a blue pencil case,
a blue cap, and blue T-shirts.
So, I want a blue bag for my birthday
present.



Small Talk の例

Hello, everyone.

Today, I will tell you what I want for my birthday present.

I want a basketball for my birthday present.

I play basketball two times a week.

But, I am not good at playing basketball.

My friend has a basketball and he practices playing basketball every day.

So, he is good at playing basketball.

But, I don't have a basketball.

So, I can't practice basketball every day.

That's why I want to have a basketball for my birthday present.



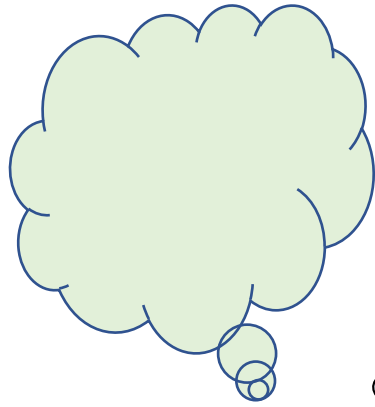
Small Talk 進め方を理解し，授業でやってみる

Small Talk の流れ

- ①話題を提供（※お題は与える，言語材料は与えすぎない）
- ②やりとり（まずやってみる）
- ③言えなかったこと⇒皆で考える
「何て言ったらいいのかな？」
※すぐに教えない
既習表現を使って言えないか考えさせる
- ④再度，他の人とやりとりする。

資料 from 大田亜紀

外国語教育の段階的指導

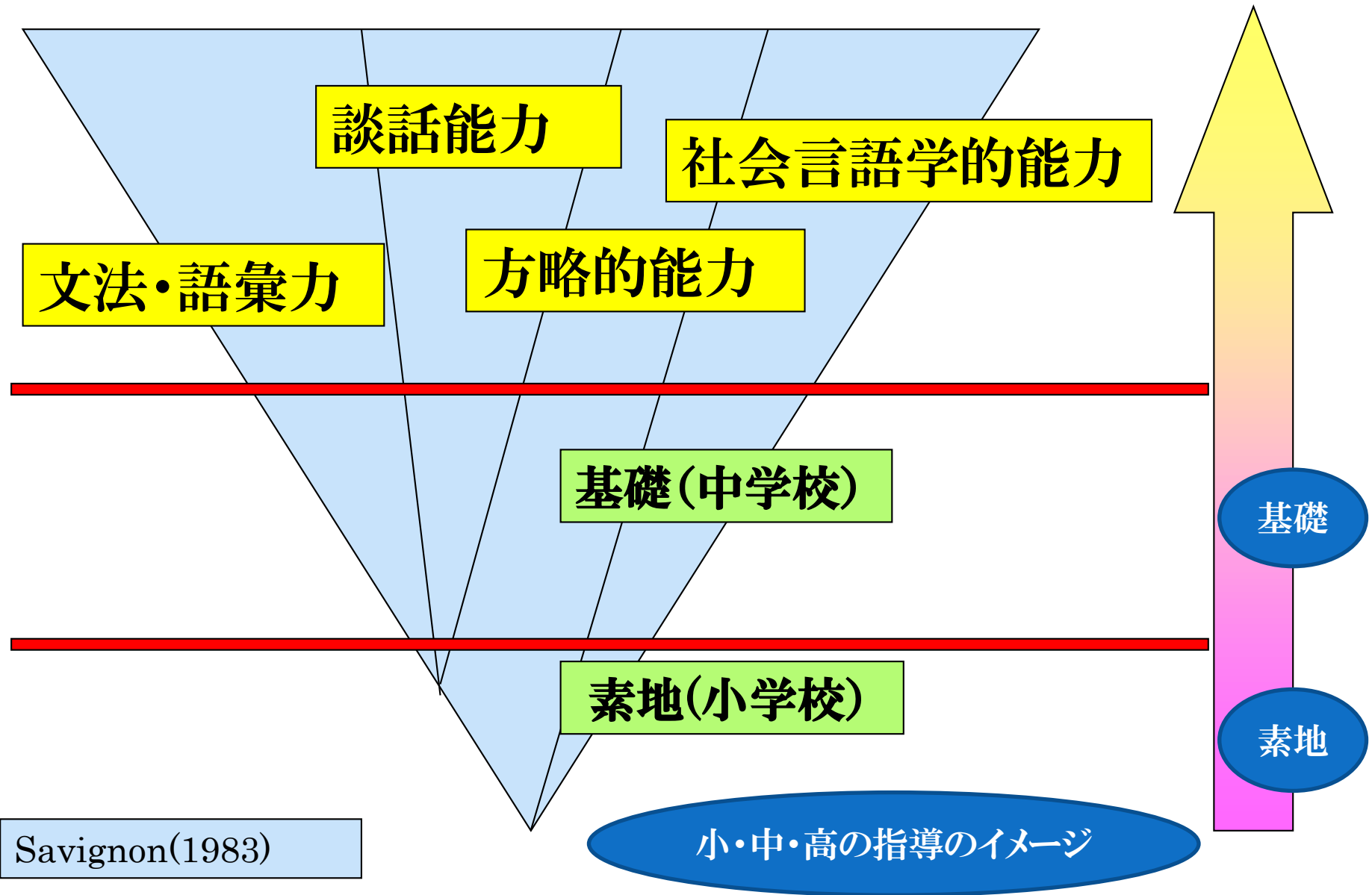


I like . . .



コミュニケーションが先，その後に語彙や文法を学習する。

The components of communicative competence



CSの分類

A) Avoidance strategies

回避の方略

A) Achievement strategies

(1) L1-based strategies

a) Code switching (Language switch, Borrowing)

日本語使用

b) Literal translation

母国語をそのまま逐一翻訳

(2) IL(Inter language) based strategies

a) Approximation

上位語, 関連語による代用

b) Paraphrase(Description, Circumlocution, Exemplification)

c) Word coinage

目標言語に存在しない語を使う

(3) Appeal for assistance

相手に助けを求める

(4) Gesture, mime, sound imitation

非言語方略を使う

言語習得のプロセス

- 文法は最初に重視すべき項目ではまったくない。学習者は、まずどのようなようにして意味を伝えるか、発話に参加するのかを学ぶ。そうすると**学習者はコミュニケーションを経験することで、その結果として、言語の構造または機能に気がつく。**（サビニオン，2009）
- 「模倣と練習」だけからは子供の言語発達は説明できない。子供は大人の言葉を単に真似ているのではない。むしろ大人の言葉を聞いて自分なりに**創造的に言葉を使っている。**学習者のエラーは進歩の証拠である。（Lightbown & Spada, 2006）
- Brown (1991) は言語習得過程を植物の生育過程に例えている。植物の種は水や肥料を与えられ成長し最後に実をつける。言語習得も環境という土壌に**教師の働きかけがあり、成長していくものである。**

言語習得のプロセス

- ドリル練習などをたっぷり行って、そこで練習した文型が正確に使えるようになったとしても、その効果は、時間の経過とともに何事もなかったかのように失われてしまうことが多い。（和泉，2009）
- （言語習得における）「認知能力」とは、思考力，類推力，想像力，分析力など，つまり考える力をここでは意味している。（村野井，2006）
- 私たちはコミュニケーションをしたいという気持ちと，コミュニケーションの経験があって初めて，文法を習得することができる。

近年、外国語教育のさまざまな局面で、学習者を「社会的な主体」として捉えることの重要性が指摘されています。これは外国語教室において、生徒を単に「**スキルとして外国語を身に付ける学習者**」として捉えるのではなく、「**言葉を通して他者とつながる社会的な存在**」として捉えることを意味しています。(村野井、2015)

授業改善のポイント

- 外国語学習は**言葉の学習**であると考えろ。
- 言葉の大切な役割は**互いの考えや気持ち**を伝え合うこと
- 言葉は**人と人をつなぐ役割**があること
- 自分の**考えや気持ち**を伝える**活動**を取り入れる。
- **目的, 場面, 状況**を意識した言語活動を行う。
- 教室を英語を学ぶ場・**使う場**とする。
- 英語は**気持ちが9割**と考える。
- 矯正から**共生**へと考える。
- 英語の学習は**全人教育**！

ナンクルナイサ



琉球大学教育学部
大城賢

研究室HP <http://kenoshiro.net/>